

# ふれあい通信

SADA<sup>SM</sup>  
No.14



長南町長  
平野 貞夫

本年11月末に、統合小学校の校舎が完成の運びとなり、来年4月から町内にスクールバスが運行し、統合校の存在が、町民の皆様にもはつきり見えてくるのではないかと思います。開校に向け、あるいは4校の閉校に当たり、お骨折りをいただいている関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

28年度の当初予算は、議会の議決を以て成立いたしました。大型の継続事業や借入金返済など、大変厳しい財政状況の中ではありましたが、私なりに必要と思われる新規事業については、盛り込むことが出来たのではないかと思います。今後の予算執行に当たっては、職員一丸となって取り組んでまいりますので、町民の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

今、閉校となる4小学校の跡地活用が新たな課題となっています。私は、この跡地活用が、将来の長南町の命運を握るのではないかと思っています。校舎という特殊な建物ですから、使い勝手が非常に悪く、やはり学校施設は学校として使われるのが一番望ましいわけです。

そんな折、学校法人タイケン学園の存在が私の耳に入ってきました。この学校は、スポーツ（硬式野球・サッカー・ゴルフなど）に特化した教育を行う機関として全国にキャンパスを持つ学園であります。市町村が学校を誘致するには、立地条件もありますが、地元でどの位の助成ができるかに掛かっています。あまりにも地元負担が大きくて、誘致を断念するところもあります。ですが、本町には閉校となる教育財産があります。これを生かせば、町の体力に合った負担で呼べるのではないかと思います。

私は、学園の理事長と3回程お会いしましたが、本町に対してすごく好感を持っておられ、ぜひ良い学校を作りたいと言っておられました。3校は、中学校、高等学校、インターナショナル校として、あと1校は学生寮として使用するとのこと。長南町に学生が住み、教職員が住んでくれれば、地域経済は良くなりますし、町が元気になります。私は、この学園には、ぜひ本町に来てほしいと期待をしたところであります。

本年、2月29日に産・学・官による協定を締結し、学校進出の協議を始めることにしました。この協定の目的は、もちろん閉校となる4小学校を活用して日本ウェルネス中高一貫校のキャンパスを本町に作ることにありますが、今一つは、この学校の進出によって地域に流動人口、定住人口の増加を実現し、地域の活性化と町の発展につなげていくことでもあります。

そして、この目的達成のために双方が誠意をもって真摯に協議を行い、合意によって全ての解決に当たることとしています。

これから、タイケン学園と具体的な話し合いを行うことになりましたが、これによって町と学園との

関係が一層明らかになってきます。長南町に、かつての活気と賑わいを取り戻すため、町の利益を優先させながら、積極的に協議、交渉に臨んでいきたいと考えています。

ある程度の方向性が見えてきましたら、町民の皆様へご説明にまいります。地域との交流を重んじる学校ですので、それぞれの地域の皆様との係わり合いが大切になってくるわけですから、タイケン学園の担当部長と共に、要請があれば何回でも説明に伺いたいと思っております。

私としては今回、最善の活用方法を選択したつもりですが、様々な波紋が広がっているようです。ですが1回タイケン学園の教育方針、経営方針、長南町への思いを聞いてみましょうよ！それからでも遅くありませんから。

いずれにしても、タイケン学園を誘致するかどうかは、町民の皆様のご理解が必要であり、最終的には議会の議決を以て決定されることとなります。

今の長南町を、このままで良いと思う人はいないはず。ぜひ、みんなの力で町を変えていこうではありませんか！